

令和元年第4回議会定例会における行政概要報告書

(令和元年8月27日から令和元年11月25日まで)

1 市表彰式典について

11月9日に総合センターらぼーるで市表彰式典を開催し、市表彰規則に基づき、2団体44人（自治功労賞4人、功労賞32人、善行表彰2団体8人）を表彰するとともに、詐欺被害防止や人命救助に尽力された方など7団体20人に感謝状を贈呈しました。また、式典の中で、特別講演として歴史民俗資料館の仲田昭一館長^{なかたしょういち}を講師に招き、「根本正一^{ねもとしょう ふるさと}故郷への思い」と題した講演会を行いました。

2 那珂市令和元年台風19号災害義援金およびふるさと納税寄付について

令和元年10月12日から13日にかけて日本列島を縦断した台風19号により、被災された市民の方を支援することを目的に「那珂市令和元年台風19号災害義援金」の受付を開始し、11月25日現在で4,136,578円の寄付がありました。

また、市の災害復旧対策や復興事業の費用に充当することを目的として、ふるさと納税においても寄付の受付を開始し、11月25日現在で1,334,999円の寄付がありました。

さらに、市役所庁舎内や市内の公的施設に募金箱の設置をするなど、多くの方からの義援金の協力を依頼しております。

3 市いじめ再調査委員会について

11月15日に市いじめ再調査委員会を開催し、5名の委員に委嘱状を交付するとともに、本市の教育や現状について意見交換を行いました。

4 市長と話そう 輪い・和い座談会について

木崎地区の新宿自治会からの申請により、「市民との協働のまちづくり」及び「防災・防犯・交通安全」をテーマとした「市長と話そう 輪い・和い座談会」を11月15日に開催し、28名の方のご出席をいただきました。

市政方針について市長が説明するとともに、「自治会活動に対する行政支援の在り方」や「防犯環境の整備」などテーマに沿った意見交換を行いました。

5 「国立大学法人茨城大学との相互連携・協力に関する包括協定書」の締結について

茨城大学とは、これまでも市の審議会等委員への参画や各種講演会等の講師など様々な連携を行ってまいりましたが、この度、茨城大学が展開する社会人の学び直し「リカレント教育プログラム」に市職員2人が受講することや市と地元大学との連携をより強固にするという趣旨の元、10月16日に包括連携協定の調印式を執り行いました。「リカレント教育プログラム」への参加は、那珂ビジョンで掲げる人材育成や職員の意識改革、活力向上につながるものであり、行政機関の職員としてこのプロ

グラムに参加するのは那珂市が初めてとなります。今後、学生という資源や大学の研究・教育成果を様々な分野において連携を深め、市の施策に活かしてまいります。

6 茨城女子短期大学及び日本大学文理学部の文化祭への参加について

相互連携・協力に関する包括協定を締結している学校法人大成学園茨城女子短期大学（撫子祭：10月26日）及び日本大学文理学部（桜麗祭：11月1日～2日）の文化祭に参加し、市のPR活動を行いました。市特産品ブランド認証品やナカマロちゃんグッズの販売、フェルミエ那珂の朝採れ野菜の直売などのほか、「いい那珂暮らし」のPRなどを行いました。いずれの文化祭も、学生はもとより、大学周辺にお住まいの方や同窓会、父兄の方々、小さいお子さんにも好評を得ることができました。

7 いい那珂暮らし住まいづくりフェアの開催について

10月27日、中央公民館において、市への移住定住について具体的な検討をしてもらう目的で「いい那珂暮らし住まいづくりフェア」を開催しました。住宅取得を検討している方に向けて、市内の物件や生活環境、返済計画等の情報を提供し、市への興味喚起、定住後の不安軽減を図りました。開催にあたっては、市と市内の不動産事業者や建設業者、金融機関、ファイナンシャルプランナー団体との協力と連携に加えて協賛をいただきました。市内外から参加された方は14組29人を数え、マネープランセミナーやインテリアデザインセミナーでは講師の話を熱心に聞き入り、各事業所のブースや分譲地などの現地見学会にもご参加いただくなど、市主催ならではの安心感のあるフェアとなりました。

8 「2019ハーフセンチュリーいばらき」への参加について

11月3日、茨城県サイクリング協会が主催し、那珂総合公園を発着地点とする「ハーフセンチュリーいばらき」に、市の自転車活用推進の足掛かりとして、また、市のPR活動のため参加しました。大会は、ハーフセンチュリー（80km）、ショートコース（40km）、市内周遊コース（30km）の3部門で構成され、県内外から169の方が出走し、周遊コースには先崎市長も参加しました。参加者には市からのおもてなしとして、市特産品ブランド認証品やトマトスープを提供し、おいしく召し上がっていただき好評を得ることができました。また、自転車に関するアンケート調査を行いましたので、現在策定を進めている市自転車活用推進計画に活かしてまいります。

9 いい那珂暮らし移住・農業体験ツアーについて

那珂市内の農家と連携した農業体験及び地元住民との交流を実施し、移住に向けた関係人口創出及び就農希望者との交流機会の創出を図るべく、移住・農業体験ツアーを実施しました。7月12日の東京有楽町での交流会、8月24日の木崎地区における野菜植え付け体験・交流会に引き続き、11月10日、植え付けた野菜の収穫体験やアウトドアランチ、交流会を行いました。今回報告の第3回目では「いい那珂暮らし応援団」の9人を加え、合計29の方に参加いただき、ブロッコリーやキャベツの収穫後、芳野農産工房にて那珂市産の常陸牛や野菜を使ってバーベキューを行いながら、賑やかに交流会を開催しました。このツアーは、フェルミエ那珂、那珂アグリズ、木内酒造、ふれあいファーム芳野、那珂健康センター、木崎地区まちづくり委員会などの協力と連携により実現しており、

参加者からも大変好評を得てお試し居住の申し込みもあるなど、那珂市の魅力を十分に伝えることができました。

10 令和元年台風第15号による被災地への職員派遣について

10月4日、総務省の被災市区町村応援職員確保システムに基づき、全国知事会を通じて千葉県南房総市への住宅被害認定調査の応援要請がありました。

この派遣要請に応じて10月7日から10月11日までの5日間、税務課の職員2人を派遣しました。

11 令和元年台風第19号の被害状況及び対応について

10月12日から13日にかけて茨城県を縦断した台風第19号による本市の被害状況については、人的被害はありませんでしたが、記録的な大雨による河川等の増水により、建物被害として住家27棟、非住家21棟、その他木崎橋の流出や農業集落排水処理施設等の冠水など多数の被害が確認されております。

対応については、11日に災害対策本部を設置し15日に解散しました。その間、12日には土砂災害警戒区域の住民25世帯63名に避難準備・高齢者等避難開始情報を、12日から13日にかけて、久慈川・那珂川流域の浸水想定区域の住民2,762世帯7,195名に避難勧告、その後避難指示を発令しました。

避難所は、5カ所を開設し最も多い時で169世帯374名の方が避難されました。

今後は、被災者の方々が元の日常生活を取り戻せるよう、国、茨城県等の支援を受けながら、早期の復旧に全力で取り組んでまいります。

12 ふれあいパーティーについて

9月14日、結婚を希望する男女の出会いを支援するため「第10回いいなかパーティー」を開催しました。いいなかパーティーの企画運営は、市商工会青年部へ委託しており、毎回趣向を凝らした内容で実施しています。参加者は、男女各14人で、カップル成立は5組でした。

13 「協まちカフェ」の開催について

10月19日の額田地区を皮切りに、11月3日に菅谷地区、11月9日に神崎地区、11月10日に戸多地区、11月17日には、芳野地区、木崎地区、瓜連地区、11月24日は五台地区において、「協まちカフェ」を開催しました。各地区のお祭りなどに合わせて開催し、多数の方にご来場いただき大変好評でした。

14 「台南交流事業」について

11月8日から台南市を訪問し、台南市でも盛んに実施されているグラウンドゴルフを通じて市民との交流会に参加しました。本市から13人が参加し、台南市を含め台湾各地から参加した174人の選手は盛大な歓迎を受け、那珂市と台南市のスポーツ交流を深めることができました。

15 いばらき出会いサポートセンター「出張相談 in 那珂」の開催について

11月14日、茨城県等が出資し運営しているいばらき出会いサポートセンターが主催する出張結婚相談を那珂市役所で開催しました。センターの相談員が、結婚に関する相談を受け、具体的なアドバイスや提案をしました。

相談件数は、8件でした。

16 「おとう飯^{はん}始めよう」料理教室の開催について

11月24日、小学生のお子さんがいるお父さんを対象に「おとう飯始めよう」料理教室を開催しました。「おとう飯」とは、お父さんが作ったご飯のことで、当日は、お父さんが一緒に参加したお子さんと共に「皮から作る餃子」「ミルク七運汁」「フルーツ巾着」の3品を一生懸命作る姿が印象的でした。教室の最後には、作った「おとう飯」をみんなで笑顔で味わいました。

参加者は、16組の親子でした。

17 那珂良しクリーン作戦の実施について

9月1日、第74回国民体育大会の開催に合わせて、馬術競技会場である水戸農業高等学校周辺、常磐自動車道側道及び国体時にシャトルバス発着所となる那珂総合公園周辺のクリーン作戦を実施しました。各まちづくり委員会、市内事業所など総勢650人が参加し、約700kgの不法投棄物を回収しました。

18 「那珂市 障害者就労支援事業所 物品販売会」について

10月17日、那珂市と株式会社水戸京成百貨店との相互連携・協力に関する協定事業の一環として、那珂市地域自立支援協議会就労支援部会に所属する障害者就労支援事業所による物品販売会を、水戸京成百貨店1階正面口外特設会場において開催しました。

物品販売会には5事業所が出展し、パンや菓子、加工食品、生鮮野菜、手工芸品など、障害者就労支援事業所の製品を販売し、多くの来客で賑わいました。売上金の一部は、販売会に参加した障がい者の工賃に充てられます。

19 敬老行事について

9月17日、18日に、本年度の百歳達成者15人を訪問し、国、県からの褒状と記念品及び市からの記念品を贈呈しました。さらに、市内最高齢者と、米寿を迎えられた304人に、市からの記念品を贈呈しました。

また、9月8日から10月20日にかけて、8地区28か所で敬老行事が開催されました。出席者は市全体で2,005人でした。

20 グループホームの整備に係る事業予定者の選定について

令和2年度に認知症対応型共同生活介護（通称「グループホーム」）を整備する事業者の公募については、3事業所から応募がありました。

これらの応募事業者について、市地域密着型サービス整備審査委員会におけるプレ

ゼンテーション等の審査、市地域密着型サービス運営委員会の意見をふまえ、10月8日、株式会社 テンダーケアジャパン（水戸市笠原町1375番地1 代表取締役なるさか 鳴坂 じゅん 淳）を事業予定者として選定しました。

2.1 かぼちゃの生産振興について

那珂のかぼちゃの生産振興と消費の拡大を図るため、2つの事業を行いました。

一つ目は、「那珂のカボチャわくわくレシピコンテスト」を開催しました。市内の小中高生から計46点の応募があり、水戸農業高生の「たっぷりカボチャプリン」ほか計8作品が選ばれ、11月3日、市立図書館で表彰式を行いました。

二つ目は、中川学園調理技術専門学校のプロデュースにより本市のかぼちゃ、行方市のさつまいも、笠間市の栗を使った焼菓子「いもくりなんきん」が完成し、11月12日に商品の発表会を行いました。

2.2 市特産品ブランド認証品について

市特産品ブランド認証品につきましては、今年度、市特産の農作物や加工品など新規4商品、継続8商品の応募があり、厳正な審査をクリアした12商品を新たに認証しました。

これにより、全体のブランド認証品数は32商品となりました。

2.3 創業支援等事業について

9月7日から、那珂市、ひたちなか市、東海村の合同により、全9回の「創業スクール」が開催され、市内在住、又は在勤の創業予定者6名が参加しました。最終日の「ビジネスプラン発表会」において、最優秀賞、優秀賞を受賞しました。

2.4 水戸黄門さま漫遊ウォークについて

11月17日、那珂市、水戸市、常陸太田市の合同で、ウォーキング事業を通じ観光面での連携を図ることを目的とした「第15回水戸黄門さま漫遊ウォーク」が開催され、水戸市及び常陸太田市から一の関ため池親水公園を目指し、約230人の参加者が15キロの道のりを歩きました。

道中では観光案内の実施やエイドステーションを設置し、ゴール後には曲がり屋前で印籠引継ぎ式や各市の特産品の抽選会等を行うなど、参加者が最後まで楽しめるイベントとなりました。

2.5 市小中一貫教育の日について

平成27年度から取り組んでいる小中一貫教育の取り組みとして、11月9日に「小中一貫教育の日」を開催しました。各学園では、小学生と中学生が創意と工夫を凝らした交流活動を実施し、保護者をはじめ多くの地域の方が訪れました。

2.6 ひまわり幼稚園公開保育について

今年度開園した市立ひまわり幼稚園において、11月18日に公開保育を実施しま

した。外国語活動や運動指導を含め、全6学級の保育を公開するとともに、来園した市内外の幼児教育施設職員や小中学校教員等で、保幼小中連携及び接続の推進に向けたグループ協議や情報交換を行いました。

27 学校給食センター見学会開催について

シティプロモーションの一環として本市の学校給食を知ってもらうため、来年度就学する子どもの保護者を対象に、10月17日に学校給食センター見学会を開催しました。

今回は、市立ひまわり幼稚園の保護者12名が参加し、調理風景の見学、栄養教諭による講話及び給食の試食を通して学校給食の魅力や重要性について理解を深めました。

28 ナカマロちゃん給食の提供について

那珂市の特色ある給食として、地場産品を多用した「ナカマロちゃん給食」の提供を開始しました。初めての試みとなった今年度は、中学校は11月22日（金）に、小学校は26日に実施し、市商工会の協力により提供された那珂かぼちやのペーストを使用したかぼちやのクリームスープのほか、市内農家の新鮮な野菜を使った献立を提供しました。

29 「青少年の主張」発表大会並びに表彰式典開催について

10月19日、総合センターらぼーるにおいて、青少年が日常生活の中で感じていることや考えていることを広く訴える機会として、「青少年の主張」発表大会並びに表彰式典を開催しました。

市内の中学生や高校生、そして特別参加として市消防本部職員により発表が行われ、身近な学校や地域活動、社会生活を通して感じたこと、相手に対する思いやりなど、力強いメッセージにより会場に訪れた方々に大きな感動を与えました。

30 「親が変われば、子どもも変わる」運動那珂市推進大会並びに家庭教育学級第2回合同学習会開催について

11月16日、総合センターらぼーるにおいて、「親が変われば、子どもも変わる」運動那珂市推進大会並びに家庭教育学級第2回合同学習会を開催しました。

第1部では、わかすぎ学園の児童・生徒の保護者及び県立水戸農業高等学校の保護者から子育て体験発表が行われ、第2部では、子育てに関する講演会として、茨城県青少年心理アドバイザーの阿部 誠一先生あべ せいいちを講師に迎え、「自己肯定感を育む地域教育」をテーマにご講演いただき、保護者をはじめ、地域のかたなど多くの方々から大変ご好評をいただきました。

31 第74回国民体育大会馬術競技会開催について

9月29日から10月3日の5日間、県立水戸農業高等学校特設馬術競技場において、第74回国民体育大会馬術競技会を開催し、馬場馬術競技を6競技、障害飛越競

技を16競技、総合馬術競技を1競技行いました。

茨城県選手団は、23競技中20競技で入賞。天皇杯・皇后杯ともに1位となり、総合成績に大きく貢献しました。

連日、観覧席が満席状態となり、急遽立見席を用意するなど、多くの観覧者が詰めかけ大変な賑わいを見せました。競技会期間中の参加者数は、選手・監督1,280人、大会関係者5,000人、観覧者21,953人となり、合計で28,233人となりました。

3.2 特別企画展「那珂市埋蔵文化財出土品展」開催について

7月20日から9月1日まで、歴史民俗資料館において、特別企画展「那珂市埋蔵文化財出土品展」を開催しました。

埋蔵文化財の存在を広く周知し文化財保護意識の向上を目的とし、平成25年以降に市内で発掘調査が行われた遺跡を紹介するとともに、出土資料を展示し、延べ2,728人が来館しました。

また、7月28日、展示講演会として、公益財団法人 茨城県教育財団埋蔵文化財指導員の川井 ^{かわい} ^{しょういち} 正一先生を講師に迎え、「下大賀遺跡出土資料について」と題しご講演いただき、90人のかたが来場し大変好評でした。

3.3 那珂市城館跡調査報告フォーラム開催について

10月26日から歴史民俗資料館において開催している特別企画展「那珂市城館跡調査成果発表展」に伴い、11月4日、那珂市城館跡調査報告フォーラムを開催しました。

市内の城跡や館跡の分布調査及び縄張図作成を目的に、平成26年度から平成30年度までの5か年で調査した結果や成果等について、茨城大学人文社会学部教授の高橋 ^{たかはし} ^{おさむ} 修先生をはじめ、茨城大学中世史研究会、茨城城郭研究会から報告をいただきました。

3.4 図書館まつりの開催について

10月26日から27日の2日間、市立図書館において、「読書週間（10月27日から11月9日）」にあわせ、「第13回図書館まつり」を開催しました。

児童サービスボランティアや茨城大学落語研究会、菅谷地区まちづくり委員会、フェルミエ那珂、茨城女子短期大学からの協力をいただき、落語会、おはなし会、朗読会、工作教室、豆本づくりなど、さまざまなイベントを開催しました。

27日には、歌手の芹 ^{せり} ^{ようこ} 洋子さんを講師に招き、「歌はともだち ～出逢い ふれあい 歌いあい～」と題し、ご講演いただくとともに、一緒に歌を歌うなど、大変有意義なひとときを過ごすことができ、多くの参加者から好評を博しました。

3.5 水戸ホーリーホックホームゲーム「那珂市の日」開催について

11月10日、ケーズデンキスタジアム水戸において、水戸ホーリーホックと愛媛

F Cの試合が「那珂市の日」として開催され、那珂市に在住・在学する942人が無料招待されました。

試合に先立ち、市内サッカー少年団の子どもたちが前座試合を行ったほか、選手と手を繋いで入場するエスコートキッズを務め、力強い声援で選手を送り出しました。

また、市特産品が当たる抽選会により那珂市をPRするなど、会場を大いに盛り上げました。

36 消防業務について

消防訓練指導については、事業所や学校等を対象として48回行い、6,205人が参加して、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、応急手当の普及のため、普通救命講習会を10回行い、242人が受講しました。

火災出場件数については、3件、救急出場件数については、600件となっています。

第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体期間中、笠松運動公園において開会式・閉会式・陸上競技、及び県立水戸農業高校で開催された馬術競技における、救護・警備消防防災班としてそれぞれ従事しました。

台風19号に伴い消防本部職員及び消防団員が10月12日・13日の昼夜、那珂川・久慈川及び支流河川の水防活動等に従事し、消防団員が下江戸地区住民4名を救出避難、消防隊が男性1名を救助しました。また常陸大宮市消防本部管轄で発生した河川氾濫に伴い、応援出場し2名を救助しました。

11月16日に、第27回全国消防操法大会茨城県代表選考会が茨城県立消防学校で開催され、県北地区代表として、那珂市消防団第8分団第3部(中里・平野)が「小型ポンプ操法の部」に出場し敢闘賞を受賞しました。

令和元年12月3日

那珂市長 先崎 光